

復旧・復興の歩み

令和4～5年 (2022～2023年)

全国都市緑化くまもとフェアや、アジア・太平洋水サミットの開催などを通じ、森の都、水の都である熊本市の魅力をもっとPRしました。また、熊本市防災基本条例を定め、地震の教訓を次世代へ継承する取り組みを推進しました。



第38回全国都市緑化くまもとフェアの開催



第4回アジア・太平洋水サミットの開催



「熊本地震の日」周知啓発イベントの開催

令和6～8年 (2024～2026年)

他都市への災害支援や九州全体での広域的な防災体制の充実を進めました。さらには、災害に強い道路ネットワークの形成や大規模災害時に車中泊避難場所として活用できる熊本競輪場の再建などを進め、災害に強く安全・安心なまちづくりを着実に進めています。



くまもとアプリの導入・活用



熊本西環状道路(池上工区)の開通



熊本競輪場グランドオープン



令和2～3年 (2020～2021年)

被災したインフラや施設の災害復旧工事が全て完了するとともに、花畑広場や熊本駅白川口駅前広場などの整備が進みました。また、一人ひとりに寄り添った支援を進め、応急仮設住宅等入居世帯数が0世帯となりました。



熊本城特別見学通路公開開始



花畑広場が完成



白川口駅前広場の整備完了

支えられた日々を、支え合う力に。

平成28年熊本地震から10年の節目を迎えます。改めて犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、そのご家族や被災された全ての皆さまに、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

突然の大きな揺れで日常が変わってしまったあの日のことは、今も私たちの心に深く刻まれています。この10年間、数え切れないほどの苦労がありましたが、私たちは互いに支え合いながら、力強く前へ進んできました。その大きな力となったのは、市民の皆さまの「支え合う力」、そして国内外から寄せられた多くの温かいご支援でした。

そこで、本年は、「支えられた日々を、支え合う力に。」をコンセプトに、この10年間の歩みを改めて振り返り、犠牲になられた方々への追悼と、支えてくださった全ての方々への感謝の思いを込め、地域や市民の皆さまと連携しながら、さまざまな取り組みを進めています。

この節目を契機として、「助け合い支え合う地域のつながりこそが真の防災力」であるという熊本地震の最大の教訓を、次世代へ確実に伝承し、「安全・安心で、災害に強くしなやかなまち」を実現してまいります。



熊本市長 大西一史